

## 総務地域連携常任委員会年間活動計画作成について

### 1 部局所管事項概要調査

5月26日（金） 総務地域連携常任委員会

### 2 年間活動計画について協議

- (1) 前期の委員会における委員会活動評価総括表及び部局の所管事項概要説明の内容等を踏まえ、向こう1年間の活動内容について協議する。
- (2) 重点項目を選定し、各項目について、いつ頃、どのような方法（例：執行部説明、参考人招致、県内外調査、委員間での議論など）で調査を行うか協議する。
- (3) 県内外調査の日程、調査したい項目について協議する。  
※参考：年間活動計画書  
※委員会が活動していく中で、年間活動計画に変更が生じた場合は、その都度、年間活動計画の修正を委員会で協議する。

### 3 年間活動計画書の作成

2での議論を踏まえ、正副委員長が年間活動計画書を作成し、委員に配付する。

## 総務地域連携常任委員会活動評価総括表

## 1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

- (1)・(2) 年間活動計画の進捗度、委員会運営の円滑度  
 ・ 委員会活動はほぼ計画通り進み、委員会運営も円滑に進めることができた。  
 ・ 臨機応変に対応でき、良い委員会だった。
- (3) 議員間討議の充実度  
 ・ 議員間討議は対立するような意見が出れば活発になるだろうが、本委員会に限らず、あまり活発にできていないのが現状である。  
 ・ 請願や意見書が提出された場合に、意見を出しやすい雰囲気になれば、おのずと議論は活発になると思う。  
 ・ 本委員会は様々な会派で構成されており、多様な意見を吸収できる素地があったため、議論がそれほど積極的に行われなかったのと考える。  
 ・ 正副委員長で課題を抽出してもらえば、各委員に議論を促す形にしてもらえらるとなお良かった。
- (4) 県内外調査の充実度  
 ・ 県内外調査は、議論に反映できる場所を選んだため、その調査結果を踏まえて発言・提案を行うことができた。  
 ・ スポーツ選手の育成のために四日市中央工業高校へ行くなど、様々な場所に足を運んだため、参考人招致をせずとも、自ら現場に意見を聴きに行くことができた。  
 ・ 県内外調査では、委員から積極的に質問したり熱い議論を行ったりすることができた。
- (5) 県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度  
 ・ 参考人招致は行わなかったが、余裕があれば良かった。

## 2 各委員（理事）の評定の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) 〔「ワーク・ライフ・マネジメント」から「働き方改革」への議論の進化ができなかったように思う。すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。委員会でも十分な議論をしましたか。委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。(その他、評価の理由等(自由記載)) 〕	4.3
(2)委員会運営の円滑度	〔 各委員の発言を促し、それらを的確に委員長報告等に反映していただけた。 〕	4.3

項目	評価の視点	平均点
(3)議員間討議の充実度	<p>議員間討議の機会を十分に活用しましたか。</p> <p>議員間討議を十分に行いましたか。</p> <p>議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。</p> <p>(その他、評価の理由等(自由記載))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員間討議となるような論点を、正副委員長から提示していただけるとより良かった。</li> <li>・委員間討議をする必要がなかった。</li> </ul>	3.4
(4)県内外調査の充実度	<p>県内外調査の調査先は適切でしたか。</p> <p>調査先で十分な調査を実施しましたか。</p> <p>県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(その他、評価の理由等(自由記載))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大変有意義な調査先を選んでいた。現場の生の声をその現場で聴けたことは良かった。</li> </ul>	4.6
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	<p>「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。</p> <p>(評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ワーク・ライフ・バランス」を含めた県庁の働き方改革について、提言をしたコンサルタントの参考人招致をするなど、総務部の取組にかかる外部意見等の把握にもう少し力を入れると良かった。</li> </ul>	3.8
(6)調査・審査結果の施策への反映	<p>調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に意見の多かった移住促進と地籍調査対策の充実について平成29年度当初予算等への確に反映できたと考える。</li> <li>・平成28年版成果レポートに基づく今後の「県政運営」等に係る意見で申し入れた。</li> </ul>	

※評価は5点満点です。(5点…大変良くできた、4点…良くできた、3点…概ねできた、2点…あまりできなかった、1点…できなかつた)  
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

## 総務地域連携常任委員会 活動計画書（平成29年5月～平成30年5月）

平成29年5月26日現在

## 1 所管調査事項

- ・行財政の運営について
- ・地域振興の促進について
- ・スポーツの振興について
- ・県南部地域の活性化について

## 2 重点調査項目

- (1) (※昨年度) ワークライフマネジメントについて
- (2) (※昨年度) 移住の促進について
- (3) (※昨年度) スポーツの推進・競技力の向上について
- (4) (※昨年度) 南部地域の活性化について

## 3 活動計画表

重点調査項目	平成29年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成30年 1月	2月	3月	4月	5月
(1) (2) (3) (4)  <調査方法> ○当局から説明聴取 ○参考人招致 ○県内外調査 ○委員間討議 など	常任委員会 所管事項説明 (5/26)	常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 補正予算等 (6/21, 23)	県内調査 (7/18～20 の 間)	県内調査 (8/1～3 の 間)	県外調査 (9/5～7 の 間)	常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 補正予算、 (10/5, 10)	予決分科会 平成28年度 歳入歳出決 算、所管事項 の調査（当初 予算編成に向 けての基本的 な考え方） (11/1)	常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 補正予算等 (12/12, 14)			常任委員会 議案の審査、 所管事項の調 査等 予決分科会 当初予算、補 正予算等 (3/●, ●)		
執行部の主な予定		・成果レポー ト(案)				・平成30年度 経営方針(案)  ・一般会計、 特別会計決算	・当初予算の 考え方	・当初予算要 求状況		・当初予算案	・平成30年度 経営方針		

## 4 県内外調査について

## (1) 県内調査

- 7月18日～20日の間（日帰り） ○○の取組等の調査を行う。  
8月1日～3日の間（日帰り） ○○の取組等の調査を行う。

## (2) 県外調査

- 重点調査項目を中心として、他県の先進的な取組について調査を行うことができる。  
実施する場合は、9月5日～7日（2泊3日以内）

総務地域連携常任委員会の過去の重点調査項目

平成28年度

- ・ワークライフマネジメントについて
- ・移住の促進について
- ・スポーツの推進・競技力の向上について
- ・南部地域の活性化について

平成27年度

- ・コンプライアンスの推進について
- ・スポーツの推進・競技力の向上について
- ・南部地域の活性化について
- ・交通政策について

平成26年度

- ・税外未収金対策について
- ・交通政策について
- ・スポーツの推進・競技力向上について
- ・南部地域の活性化について

平成25年度

- ・多様な財源確保策について
- ・地籍調査事業の推進について
- ・スポーツの推進について
- ・南部地域の活性化について

平成24年度

- ・未利用県有財産の有効活用について
- ・地域機関の見直しについて
- ・南部地域の活性化について